

CTCらしさを生み出す

経営資本

IT技術を用いて豊かな社会実現に向けた価値を創造し続けるには、確かな技術力を持ってビジネスモデルをより力強く、より速く動かし続けることが大切です。

ITビジネスの源泉は「人」と考えます。その「人」が主役となり、お客様をはじめとする多様なステークホルダーと協働・共創することで、CTCを取り巻く社会に価値を提供しています。

CTCグループでは、CTCらしさを生み出す経営資本である「高度IT人材」「ベンダーリレーション」「パートナーシップ」「顧客基盤」「サービス提供基盤」を用い、確かな技術力を持続的に成長させます。



高度 IT人材

ベンダー
リレーション

パートナー
シップ

顧客基盤

サービス
提供基盤

高度IT人材



今後、さらに高度化していく社会システムをITで支え、進化させていくためには、エンジニア一人ひとりが特定領域に限った深い知見だけではなく、複数の業務・技術分野の知見を持つことが重要です。CTCグループは「人材」こそ、最も磨き上げるべき資本と考えます。

現在、CTCグループではIT技術を扱うエンジニアだけにとどまらず、技術士、建築士、電気工事士など、お客様・社会に対して包括的な課題解決を行う「フルスタックIT」を支える、多種多様な業務・技術分野のエンジニアが活躍しています。個々が持つ技術の多様性を高め、それらを組織で共有し活用することにより、質の高いソリューションを提供します。

フルスタックITを支えるエンジニア

CTCグループ社員の7割以上がエンジニアとして活動しており、フルスタックで高度かつ最適なサービスを実現するため、日々技術力に磨きをかけています。特にネットワークビジネスの要であるベンダーのシスコをはじめ、今後ますます加速するクラウドネイティブに欠かせないAWSおよび仮想化技術のVMwareなど、数多くの資格保有者が在籍しています。

このほか、5Gビジネスに必要な無線関連、さらには公共性の高い大規模案件で重要視される技術士、ファシリティの設計・監理を行う一級建築士、電気工事士など、自社で責任を持てる形でサービスを提供するため、IT以外の資格を持った専門人材も数多く活躍しています。



- DXコンサルティング
 - 新規ソリューション開発
 - アプリケーションエンジニア
 - ネットワークエンジニア
 - サーバストレージエンジニア
 - システム運用エンジニア
 - テクニカルサポートエンジニア
 - 陸上特殊無線技士
 - 技術士
 - 建築士
 - 電気工事士
 - 気象予報士
- など

▶ 2020年度末時点

エンジニア数
(CTCグループ社員)

6,485名

保有ベンダー資格数
(CTC単体)

9,444

Cisco

- Cisco Certified Internetwork Expert

VMware

- VMware Certified Implementation Expert
 - Data Center Virtualization (VCIX-DCV)
 - Network Virtualization (VCIX-NV)

Oracle

- Oracle Certified Expert EE 6 Enterprise JavaBeans Developer
- Oracle Cloud Infrastructure 2020 Certified Architect Associate

Amazon Web Services

- aws certified Professional
 - Solutions Architect/DevOps Engineer
 - aws certified Specialty
 - Data Analytics/Database/Machine Learning/Security
- など

高度IT人材

—— 幅広いノウハウ、技術を持ったエンジニアが CTCグループのサービスの源泉となっています



アプリケーション開発

片野 潤一

アジャイル開発のスキル・経験で、開発力の向上に貢献

入社してから十数年間、製造業のお客様を中心にアプリケーションの企画から実装までを経験してきました。また、当社が2015年より取り扱いを開始したOutSystemsは、最小限のコーディングでアプリケーション開発を可能にするローコード開発基盤で、特にDXを実現するためのソリューションとして注目されていますが、私は、その最上位資格を日本で2番目に取得することができました。現在は、自身の知見を活かしたOutSystems導入の提案や開発支援などを行っています。

これからのエンジニアには、お客様のビジネスやビジョンを的確に把握した上で、システムやサービスを「素早く」世に送り出すことが求められます。その中で、技術革新で生まれた様々な手法を十分に活用し、「いかに独自性や創造性ある提案ができるか」という観点がエンジニアの評価や価値につながっていくと強く感じています。

手を動かして技術を身に付け、 お客様の業務を理解してエンジニアの強みにつなげる

様々な開発案件の設計・製造・試験・リリースまでを経験した後、大規模なチームでウォーターフォール型開発のノウハウを習得しました。

現在は、小売業のお客様向けに、決済・ポイント関連システムの開発・運用、性能や品質の強化、新たな機能の追加など、エンハンス業務に従事しています。システム開発では、システム面はもちろん、決済・ポイントサービスを扱う上で必要となる店舗から本社会計までの業務の流れを理解することが強みになります。システム開発では「自ら手を動かし作ること」が何よりもスキルの習得には重要で、先進技術を持ち、手も動かせる（開発できる）エンジニアが強く求められる時代です。CTCでは技術を身に付けられる環境も整っており、日々成長を実感することができます。



システム運用

若林 奈都美



インフラ（ネットワーク）

山本 昌弘

お客様と同じ視点で、 社会インフラレベルのネットワークを創る

通信キャリアのお客様を対象に、プリセールスエンジニアとしてネットワークインフラの提案および設計をしています。導入を検討する段階からお客様に出向き、技術的な説明はもちろんのこと課題を聞きながら、どうITを活用できるかを寄り添い考える役割です。自らの得意領域に執着せず、システム全体にアドバイスできるよう知識やスキルをアップデートすることももちろん、社内にいる各領域の専門家たちを巻き込む熱量が強く求められる仕事だと思っています。CTCでは、直接、世界中のベンダーからグローバル市場の動向や戦略を見聞きできるため、お客様の将来ビジョン策定にお役立てできることが強みと感じています。新たな挑戦を歓迎する風土があるため、チャンスに対する自らの肌感覚を磨き続ける主体性はとても大切で、時間を見つけては、技術力向上に勤しむ毎日です。



ビジネス企画

福永 圭佑

高い視座と広い視野を心掛け、新しいビジネスを創造

10年にわたり、メガバンク向けの市場リスク管理システムを担当しました。様々な市場の状況をモニタリングして資産の損失が極小化するようにリスクを予測したり、管理を行うもので、複雑かつ膨大な量のデータ処理を担うシステムのため、アプリケーション開発はもちろん、データ分析の習得につながりました。

現在は、金融系のお客様に新しいサービスやソリューションを発掘し、企画・立案を行っています。提案活動やプロジェクトアドバイザーを務めることもあります。

今後、エンジニアには幅広い知見をコンバージェンス（融合・統合）する能力が重要で、職種にとらわれず社会価値の向上にどう貢献できるのか、という視点も求められます。一つの道を極めることも多くの技術を俯瞰することも可能で、挑戦を認める土壌があるCTCでは、お客様とともに社会に貢献できるエンジニアという仕事に充足感をいただいています。

ITインフラからお客様の課題解決を追求

物流業のお客様向けに、自社専用で利用・運用するクラウド環境（プライベートクラウド）の基盤を構築するプロジェクトに約10年間携わり、主にシステムの設計や構築を担当していました。その経験からサーバ・ストレージを中心としたインフラ基盤の構築に関わるスキルが自身の強みとなっており、現在はプロジェクトマネージャーとして従事しています。

CTCにはあらゆる技術分野のエキスパートがいるため、技術者同士が連携することでお客様にとって最適なソリューションを創り出せることが最大の強みですが、エンジニア個人のスキルアップという観点で見ても、お客様やパートナーはもちろん、様々な先輩社員や上司との関わり合いから学べる実体験や心得などが成長には欠かせないものだと感じています。



インフラ（サーバ・ストレージ）

小木曾 真希



DX

神原 宏行

お客様と伴走し、情熱を未来へ実装する

担当する業界または地域のお客様と直接やり取りをするフロント事業グループを全社横断的に支援する組織において、ソリューションの管理や、新技術の導入、自社クラウドサービスの企画・開発などの業務を経験しました。現在は、2021年度に新設された「新事業創出・DX推進」という組織で、お客様とともにアイデアを出しながら新事業の開発を後押しするサービス「build service」を推進するチームを統括しています。今までもとにかく「やったことがないことはやってみる」という精神で様々な失敗を成功につなげ、スキルを身に付けてきました。エンジニアは「好奇心」と「自ら学習する能力」が何より大切です。挑戦を奨励する文化があるCTCで、未知の領域にチャレンジしていきたいと思っています。

現場で磨かれたエンジニアが支える、高度で複雑なシステムの安定稼働

お客様先に出向き作業を行うフィールドエンジニアとして、サーバ・ストレージ・仮想化ミドルウェアなど様々なベンダー製品の構築・保守・障害対応に従事してきました。現在はその経験を活かし、テクニカルサポートエンジニアとして技術的な問題に対処する業務を行っています。

私はこれまで、VMwareの仮想化ソフトウェア「VMware vSphere」に関する最上位資格である「VCIX-DCV」や「VCAP-CMA」など、様々なベンダーの資格を取得しながら腕を磨き、システムの構築や障害作業に対応してきました。CTCにはベンダーの資格を取得し、豊富な経験を積んだエンジニアが多数在籍しています。いくつもの製品が組み合わさった複雑なシステムのトラブルにも各分野のエキスパートが連携して適切かつ迅速に対応できるところがCTCの強みであり、お客様からの信頼につながっていると自負しています。



テクニカルサポート（保守）

粕谷 祐司

ベンダーリレーション

CTCグループは創立以来、国内外の技術力のあるITベンダーと関係を築き、世界中からいち早く優れたサービスやソフトウェア、製品などを見つけてきてつなぎ組み合わせ、最新かつ高品質なIT環境を提供してきました。クラウドの活用が当たり前になっている現在は、AWSをはじめとするハイパースケールクラウドベンダーはもちろん、SAP社やBox社などの様々なアプリケーションサービスを展開するベンダーともパートナーシップを築いています。このような世界有数のITベンダーと定期的にミーティングを開催し、お客様からの要望やエンジニアの意見を踏まえて議論を重ねることで、高品質な製品開発やサービス開発の提供につなげています。

CTCグループが提供する IT関連サービス・製品群 300 種以上	CTCが国内最大 リセラーであるベンダー 15 社	CTCをパートナーランク最上位に 位置付けているベンダー 38 社
--	--	--



— 主要ベンダーのパートナーランク／受賞実績

AWS	AWS Partner Network (APN) プレミアムコンサルティングパートナー (最上位ランク)	juniper	エリートパートナー(最上位ランク) Juniper Partner Award 2020にて以下2つを受賞 ・ Global Partner Award - APAC Automated WAN Solutions Partner of the Year ・ Japan Partner Award - Japan Strategic Win of the Year 2020
	Gold Integrator(最上位ランク) ・ APJC Partner of the Year ほか、FY20 APJC Awardにおいて以下3つを受賞 ・ Technology Excellence Partner of the Year : Service Provider ・ Commercial Partner of the Year ・ Software Partner of the Year		
Cisco		NetApp	スターパートナー(最上位ランク) NetApp Japan Partner Award 2020にて以下2つを受賞 ・ Support Partner of the Year (CTCとCTCT合同) ・ NetApp University Award (CTC)
Dell Technologies	Titanium パートナー(最上位ランク) オンラインパートナーサミット2020にて以下2つを受賞 ・ APJ Go Big-Win Big Services Award ・ Japan Go Big-Win Big Storage Award	Oracle	・ MySQL Best Partner 2020 ・ Oracle Cloud Platform (PaaS/OCI) 認定資格3位 (Oracle Certification Award 2020) ・ Kudos for サポート運用改善 (Oracle Support Partner Day 2021) ・ Technology製品License-Special thanks (日本オラクル、2020)
HPE	プラチナパートナー(最上位ランク) ・ SimpliVity MVP	VMware	プリンシパルパートナー(最上位ランク) ・ 2021 VMware Partner Collaboration Award

日本パートナー企業初

シスコ「APJC Partner of the Year Award」を受賞



「APJC Partner of the Year Award」は、アジアパシフィック、北米、ヨーロッパの3地域で各1社ずつ全域でのシスコ製品の販売やソリューション開発でシスコのビジネスに最も貢献したパートナーを表彰するものです。CTCは、シスコの様々な製品を使用したソリューションの提供やシステム構築を通じて、シスコ関連のビジネスの伸長とお客様へ新たなビジネス価値を創出したことが高く評価され、本アワードを受賞しました。

シスコと当社は、ネットワーク領域のソリューション提供において長年の強固な関係性を構築しています。5Gが主流となる昨今、さらに高度で汎用性の高いネットワークの提供を目指すべく、相互の知見を持ち寄り議論を重ねています。



▶ SAS Institute JapanのBest Channel Awardを5年連続受賞

電力業界向けの大規模システム構築や、金融分野でのソリューション展開によって、SAS製品の国内販売実績が評価され、SAS Partner Awardで「Best Channel Award」を5年連続受賞

▶ シトリックスの「Citrix Japan Partner Award 2020」で2賞を受賞

製品の販売やサービス提供の実績と、シトリックス社製品を中心とした大規模システム案件の構築が評価され、「CSA Sales of the Year」および「The Largest Deal of the Year」を受賞

▶ OutSystemsの「Partner of the Year 2020」アジアパシフィック部門で受賞

OutSystemsを導入した最も多くの新規顧客獲得の実績が評価され、「Partner of the Year 2020」で「Pioneer for collaborating on the most new customer accounts」を受賞

▶ Tableauの「Partner of the Year」で2賞受賞

データ分析プラットフォームを提供するTableau Software, LLC.において、Tableau社との協力体制確立・提案活動による大型案件獲得が評価され、以下2つの賞を受賞

- ・2020 Tableau Partner Awards Strategic Win
- ・2020 Tableau Partner Awards Japan Partner of the Year

▶ A10の「Best Performing Partner Award」を7年連続で受賞

情報通信分野でのA10製品を用いた大規模システム構築やエンタープライズマーケットでのソリューション展開が評価され「Best Performing Partner Award」を7年連続で受賞

▶ SAPジャパンの「SAP AWARD OF EXCELLENCE 2021」で2賞を受賞

商社向け海外基幹システム刷新プロジェクトにおいて、SAPジャパンのビジネスへの貢献や顧客満足度が評価され、優秀賞「プロジェクト・アワード」を受賞。また、SAPプロジェクトでの優れた成果が評価され、当社社員が「SAPマイスターIQ」を受賞



— 先端技術と技術活用戦略の開拓・調査活動

ITOCHU Techno-Solutions America, Inc.によるベンダーとの協働

ITOCHU Techno-Solutions America, Inc.は、先端技術が集結する米国での技術開拓・調査活動を目的として1990年に設立されました。各事業グループから様々な産業領域を担当するスタッフが集結し、実際のビジネスにつながる最新の技術情報を調査しています。多くのベンダーと面談を行い、日本の顧客ニーズやベンダーの製品ロードマップについて情報交換するほか、開拓した技術については日本拠点と随時情報共有会を行っており、近年ではCTCからのニーズに応じ、製造業や基幹システムにおけるAI活用やエッジコンピューティングなど、DXに役立つ技術を扱うスタートアップとの連携を強化しています。



— お客様への安全導入を目指した技術検証

テクニカルソリューションセンター(TSC)

特定の製品に偏らず、様々な最新機材を常備した日本最大級のマルチベンダー総合検証施設です。ここではIoTデジタルLAB、ハイブリッドクラウド検証環境などの特設環境も完備しており、開拓した技術をそのまま使うのではなく、お客様のITシステム課題に対応できるのか、導入に適しているかどうかを精査し、提供前の効果検証を行っています。

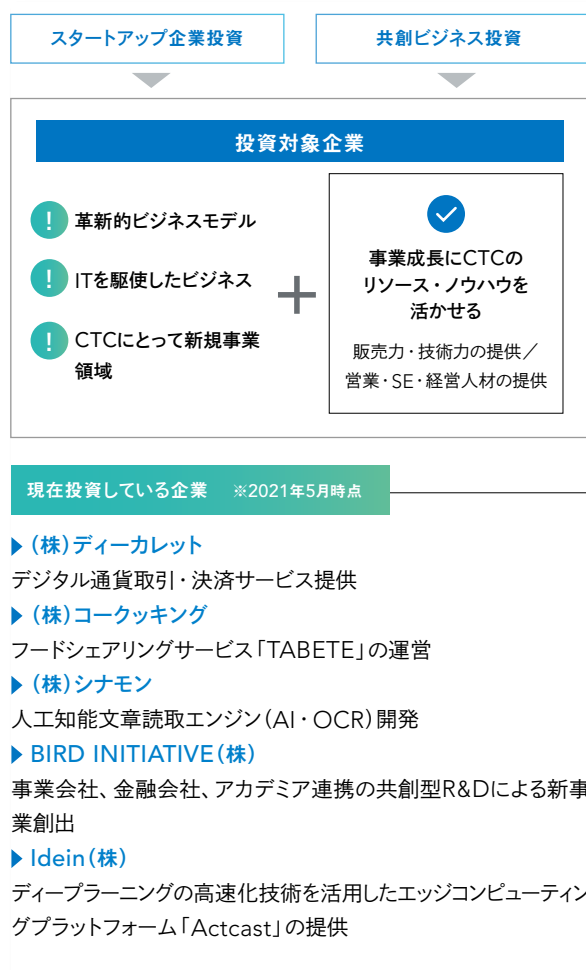
パートナーシップ



世界中で日夜、新しい技術や新しいビジネスの種が生まれています。CTCはIT業界とお客様を技術でつなぐことで価値を生み出し、社会に貢献しています。様々な企業と共創し、前進したいと考えています。ベンチャーを含むITベンダーと新しい技術の共創、伊藤忠グループの情報網も活用したビジネスの機会の発掘、既存のSIパートナーとの協力関係向上によるサービス品質の強化により、お客様と社会全体に期待を超える価値を提供していきます。

— CTC Innovation Partnersでの新規事業の共創

CTC Innovation Partners(CIP)は、オープンイノベーションによる新規事業創出のスピードアップを目的として設立されたコーポレート・ベンチャー・キャピタルです。社会課題を解決する事業、次世代技術の発展につながる事業に参加し資金を提供することで、有望なスタートアップ企業の成長を支援するとともに共創を推進し、CTCグループの事業領域の拡大を図っています。



— 新ビジネスの兆しを掴む 伊藤忠グループのネットワーク

国内のみならず世界各国において幅広いビジネスを展開する伊藤忠商事(株)のネットワークを活用することで、CTCグループの体制強化に加え、世界マーケットにおけるお客様の新たなビジネス創出などにつなげています。また、伊藤忠グループのベンチャーキャピタルと連携することで、先端技術や最新サービスを提供するスタートアップ企業との協業も進めています。

— 既存サービスの質を向上する 戦略的資本投資先

拡大するデータ活用を含むDXニーズや、国内企業の海外進出強化を支援するため、戦略的資本投資を進めています。

2018年8月に、全米でコンサルティングから運用・保守サポートまでのトータルなSIサービスを提供しており、クラウドやERPビジネスソリューションにも注力しているSYSCOM(USA)INC.と、2019年12月には業界のパイオニアとして帳票ツール、データの集計・分析・可視化ツールにおいて日本国内シェアNo.1の実績を有しているウイングアーク1st(株)に出資し、お客様の事業拡大をより強固にサポートできる体制づくりに努めています。

— SIパートナーの開発体制と 品質の強化

ITシステムには高い品質が求められることはもちろんですが、お客様の財産である情報の保全も最重要事項の一つです。CTCは国内外のSIパートナー約1,000社と連携してシステム開発と行っていますが、パートナー選定時には、経営基盤、技術力、取引実績、情報セキュリティの整備・管理体制も重視しています。優良なパートナーを「CTCアライアンスパートナー」として先端技術や品質に関わる取り組みの情報共有、開発環境・品質基準の意見交換を行い、関係強化に努めています。

顧客基盤

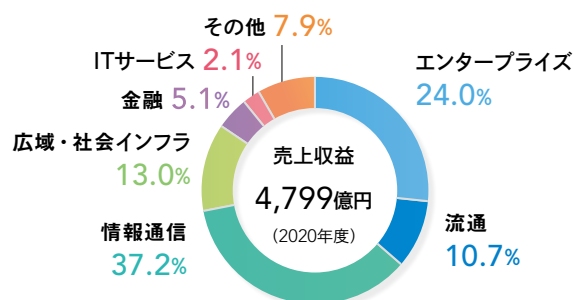


幅広い業界のお客様やお客様となり得る方々からニーズを引き出して、ITが活躍すべき分野を探し、市場を創り出します。お客様の視点に立って社会の動向を知ること、これから求められる技術への多様なニーズを考える貴重な機会です。ニーズからソリューションを作り上げ、最も適したサービスの開発やIT商材を発掘して展開すること、これは“Challenging Tomorrow's Changes”という当社のスローガンです。

お客様とのビジネスを通じて習得した技術・ノウハウは他部署などへ共有・展開し、CTC全体の資本として磨き上げていきます。この創出・共有・研磨のサイクルで技術力全体を底上げし、より満足度の高いお客様の課題解決に貢献します。

— 幅広い顧客ポートフォリオ

CTCグループは通信キャリア、製造、小売、商社、金融、官公庁など約10,000社の多様なお客様とビジネスを行っています。この幅広いポートフォリオにより事業を安定させるとともに、広くお客様の課題を解決することで、社会全体の課題解決に貢献しています。



顧客数 約10,000社 (2020年度)

— お客様とともに築く技術ノウハウ

通信・金融には24時間365日止まらないシステムが、製造や公共には大規模なシステムなど、CTCグループには多岐にわたる難易度の高いシステムの構築・運用が求められています。これらのニーズに対し、製品やサービスを広く安定的に提供する

だけでなく、共同開発やPoC（概念実証）を通じた中長期視点での協働プロジェクトを数多く実施することにより関係性を深め、より現場に即した実用性ある技術ノウハウを蓄積しています。

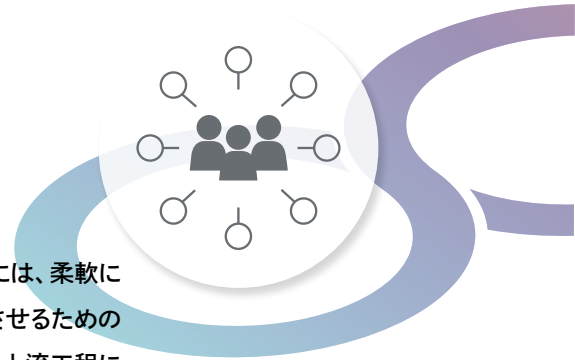
担当するお客様の領域

エンタープライズ	製造業、メディア、サービス、自動車、運輸、生活消費財、ライフサイエンス・ヘルスケア、その他産業等の企業	など
流通	流通、食品・卸、小売等の企業およびクレジット、保険、証券等の金融系企業	など
情報通信	通信キャリア、インターネットサービスプロバイダ	など
広域・社会インフラ	中央省庁、自治体、文教、地方銀行、公益、社会インフラ企業	など
金融	メガバンク、政府系金融機関	など

培われる技術ノウハウ

汎用ノウハウ	業界固有ノウハウ
アプリケーション	▶ 製品設計／開発支援
セキュリティ	▶ 製品管理システム
データ解析	▶ 市場系システム
データベース	▶ リスク管理システム
ストレージ	▶ 顧客チャネル系システム
ネットワーク	▶ 基幹システム
データセンター	▶ 情報分析システム
など	▶ 電子商取引
	▶ 大量トランザクション対応
	▶ 建設、エネルギー分野での科学計算ソリューション
	など

サービス提供基盤



幅広い業界のお客様に対し、業界の特性に合わせた質の高いサービスを提供するためには、柔軟に体制を構築できる環境が必要です。クラウドが主流となる中、システムを安定的に稼働させるための「守り」の保守・運用関連は当然のことながら、お客様が「攻め」のビジネスを行うための上流工程にこそ、長年にわたり最先端技術の発掘や開発を進めてきたCTCグループの真価があるとの認識のもと、お客様としっかり伴走することのできる体制の強化に努めています。

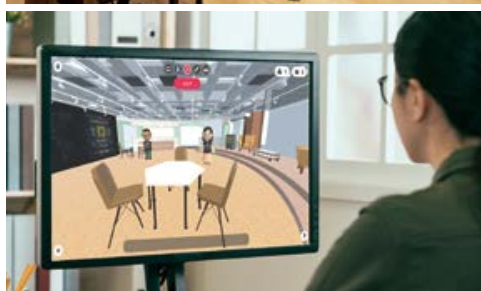
— アイデアを創出、実現するためのプラットフォーム



ビジネス共創のためのイノベーションスペース「DEJIMA」

企業の枠を超え、国内外のベンチャー企業や研究機関とのオープンイノベーションによる共創を実現するためのスペースとして2017年に開設しました。ハッカソンやアイデアソン、CTCやベンチャーを含むパートナー企業が主催する様々なワークショップを通じてアイデアを創出し、業界の垣根を超えたコラボレーションを実現しています。

2020年12月には、ニューノーマル時代の新たな場を提供すべく、VR技術を活用したバーチャル空間での新しいオープンイノベーションモデル「Innovation Space DEJIMA Digital」の開発を開始しました。従来実施していたワークショップ等の交流の場をオンラインに置き換えるだけでなく、オンラインならではの仕掛けを施すことでより活発なコミュニケーションの促進にチャレンジしています。



より速く、柔軟にビジネスをスタートするアジャイルオフィス

DXが本格化し、よりスピードと柔軟性のある開発が求められています。CTCグループは2015年よりOutSystemsの取り扱いを開始するなど、いち早くアジャイル開発を取り入れてきました。

アジャイル開発では、新規ビジネスを素早くスタートし、柔軟に変更を繰り返しながら開発を進めるため、お客様とエンジニアが直接対話をしながら、Win-Winの関係を築いていることが肝要です。当社は2018年に関係者が一堂に会することのできる専用スペース「アジャイルオフィス」を東京と豊田、名古屋オフィスの3ヶ所に開設し、開発基盤であるOutSystemsに加え、チャットや画面共有などのコミュニケーションサービスを用意しています。またこれから始められるお客様向けのセミナーや教育トレーニングも随時行っています。

2019年9月には、ベトナム最大手ICT企業であるFPTコーポレーション傘下のFPTジャパンホールディングス(株)と業務提携により、OutSystemsを活用した遠隔地でのアジャイル開発が可能になりました。当社は自社のアジャイル開発の練度を高めるとともにそのノウハウを伝え、社会のDXに貢献していきます。



— マルチクラウドに対応したデータセンター



全国4ヶ所6棟あるデータセンターは、総延べ面積約80,000m²の国内トップクラスの規模です。ISMS認証やFISCに準拠した安全性と信頼性のある設備を備え、お客様専任のSEによる最適なアレンジでハイブリッド環境における多様な機能を提供しています。

データセンター

横浜コンピュータセンター東館/西館(YCC)

横浜コンピュータセンター北館(NYC)

神戸コンピュータセンター(KCC)

渋谷データセンター(SDC)

目白坂データセンター(MDC)

— お客様の安心を支える国内外のサービス拠点

▶ 保守サポート拠点

全国をカバーする保守サポート網のそれぞれの拠点から機器の保守や運用サービス、監視サービス、情報セキュリティサービスなど各種サービスを24時間365日体制で提供しています。



▶ 詳細はこちら <https://www.ctct.co.jp/locations/>

▶ CTCセキュリティオペレーションセンター(CTC-SOC)

遠隔地よりお客様のセキュリティ機器の状況を24時間365日体制で監視し、緊急時の対応、機器の設定変更や運用等を一元的に行うCTCマネージド・セキュリティ・サービス(CTC-MSS)を提供しています。



▶ 札幌開発センター

ニアショア開発拠点として、地方都市の高い開発力を活用しながら確かなセキュリティ環境下で高品質の開発サービスを提供します。また、開発コストを削減するだけでなく、首都圏のエンジニア不足への対策や、地域活性化などの問題の改善に寄与しています。



▶ リモートオペレーションセンター(ROC)

遠隔地からお客様のITシステムを24時間365日体制で運用・監視するサービス(ROCモニタリングサービス)を提供しています。また、監視サービスと連動した自動通知サービス・自動運用サービスも併せて提供しています。

